

中宮中だより

No. 1 1

平成28年(2016年)11月4日
枚方市立中宮中学校
校長 鶴島 茂樹

生徒会、スタート！！

11月1日から、正式に生徒会本部がスタートしました。旧生徒会役員からのバトンが渡ったのです。

生徒集会でも述べたように、学校を創る主人公は生徒の皆さんです。あなたたち本部役員を選んだみんなは必ずあなたたちを支えてくれるはず。自信を持ってリーダーシップを発揮し、学校づくりの先頭に立ってほしいと思います。

先週、新会長、副会長さんの決意を簡単にまとめて書いてもらいましたので、ここで紹介しておきます。

会長 2年2組 田畑 賢明

☆今まで僕はいろいろな経験をしてきました。その経験を生かし、中宮中生の意見も聞いて、中宮中学校をよりよくしたいと思っています。そして、みんなが楽しく過ごせる学校にします。

副会長 2年2組 早濱 葵

☆生徒会副会長の早濱 葵です。
当選してうれしく思いました。ありがとうございました。
副会長という役をもらった私は、しっかりと会長を支え、本部全体で助け合って頑張っていきたいと思っています。

副会長 2年4組 東端 友亮

☆他校生や近所の方から、今まで以上に礼儀正しいと思われる学校にすること、全員が楽しく学校に来られるようにすることを、実現していきます。

1年間、精一杯頑張りますので、よろしくお願いします。

*新しい役員代表として、会長・副会長のコメントを掲載しました。執行部一丸となって、よりよい中宮中学校を創り上げていってください。大いに期待しています。

☆「Try Japanese」紹介します。

担任の先生からいただいたものの中で、10月中、題材として選んだ人が最も多かったのが「おにぎり」についてのコラムでした。毎日新聞10/17付けの「余禄」からで、おにぎりが写った写真を投稿すると協賛している企業が途上国の学校給食のために寄付してくれる「おにぎりアクション」という活動についてのものでした。

感想からひとつ紹介します。

○いつも何気なく食べているおにぎりが、国境を越えてたくさんの人の命を救っていることを知って、日本人としてとても嬉しく思いました。学校給食があると、飢餓解消になり、学校に行く子どもたちも増えるので、このような取り組みを今だけじゃなく今後もずっとやってほしいと思います。

人々を健康や笑顔にさせる日本食は、私が思っているよりもずっと世界に影響を与えていて、誇りに思いました。私も何か日本のものを使って世界の人々を救いたいです。(3年生)

2番目に多かったのは、朝日新聞10/13付けの天声人語でした。結婚前の旧姓を使うことについて、裁判所がその請求を退けたことについてのものでした。

○旧姓を使うよりも戸籍上の姓を使う方が個人を特定できると裁判所が判決を下したことには驚きました。私はもともと生まれ持った名前をもっと大切にしたいんじゃないかと思いました。自分の名前だからこそ、人柄や個性が出てくるものだったからです。戸籍ばかりにとらわれず、一人ひとりの名前に表れる人格や心を尊重することが出来る、そういう社会になればいいなと思いました。

(3年生)

最後に、逆に少数派、個性的な題材を選んだものを紹介します。朝日新聞10/18付け「天声人語」からで、世界遺産である二条城二の丸御殿が、将来、国際会議等に使用できるかもしれないという内容でした。

○徳川慶喜が歴史的にとっても重要な決断を下した二条城二の丸御殿。世界遺産であり国宝でもあるこの場所で、もし国際会議を開くことができたらどうなるだろうか。僕は歴史あるこの場所であれば、その当時の様子を考えながら取り組めると思っています。昔と比べ、今の世界はどうかを意識しながら会議を行うことも大切だと思います。(2年生)

*多くの方が積極的に取り組んでいて、先生方も毎週楽しみにしています。文章を読み取ること、自分の考えを文章で表現すること、社会の出来事に関心を持つこと・・・必ずみんなの力になっていきます。がんばって取り組んでいきましょう！